

長崎サミット（2020年～2025年） ～ オープンイノベーション宣言 ～

長崎サミットの10年総括と現状認識

【第20回長崎サミットの総括】

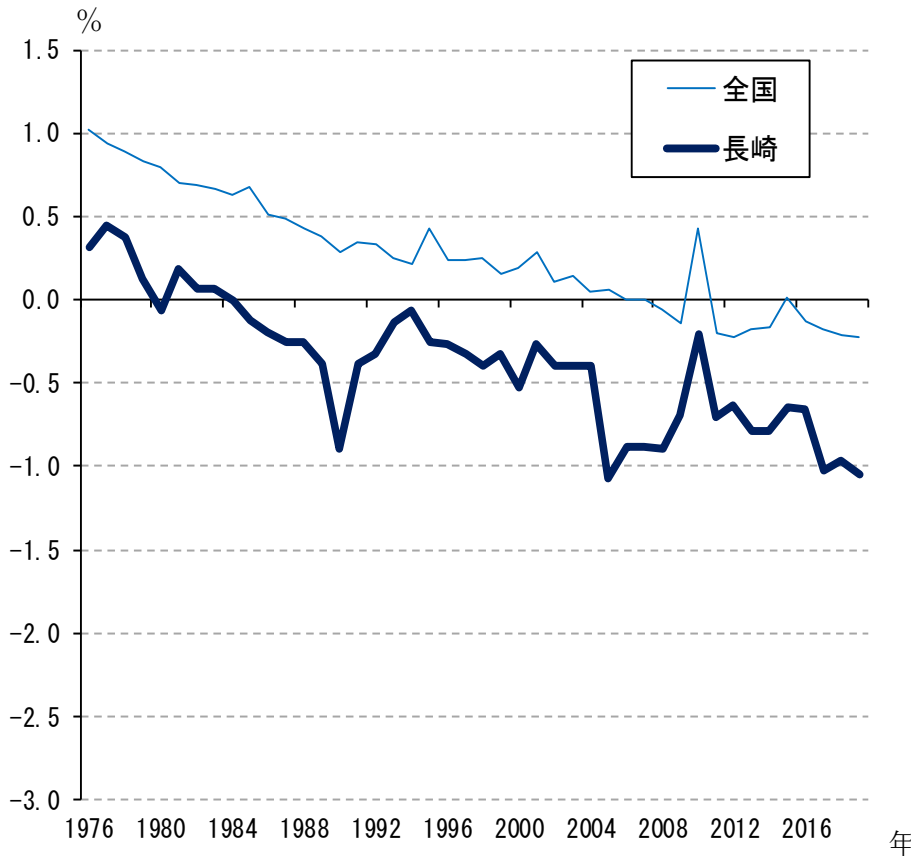
- 産学官連携の強化、発信
- 経済活性化につながるプロジェクトの成果は今一つ

【長崎県経済の現状】

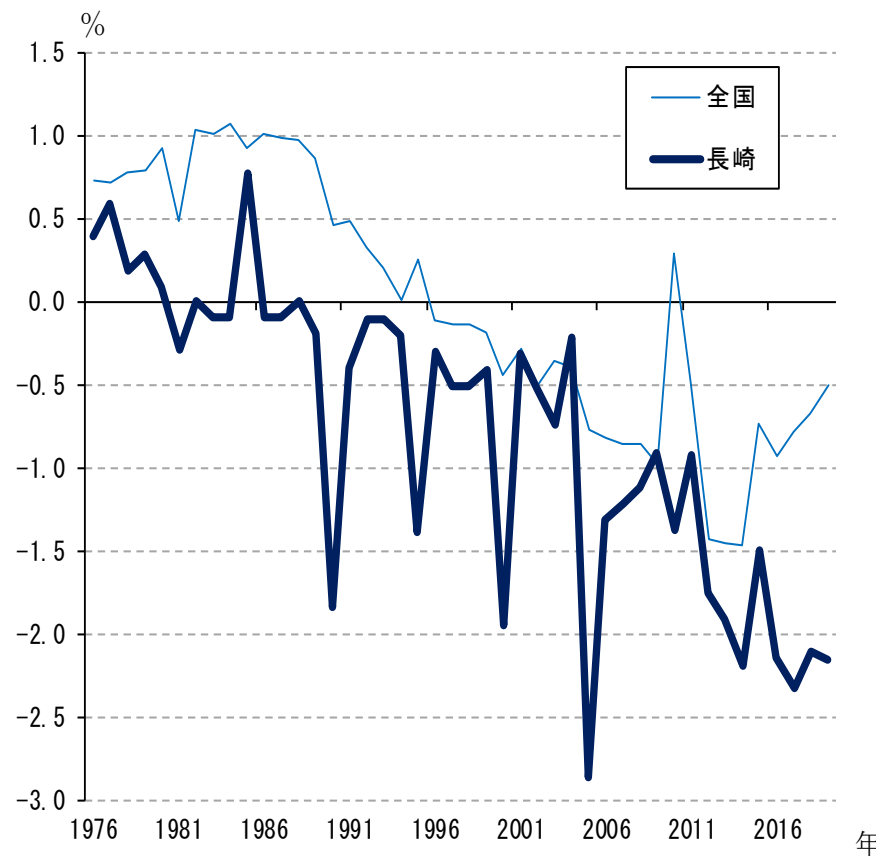
- 総人口、生産年齢人口の減少率は拡大傾向。2019年の総人口の減少率は全国40位、九州・沖縄では最下位
- 基幹製造業の外部環境は大きく変化

(参考)長崎県の人口動態

<総人口>



<生産年齢人口>



(注)各年10月1日時点。直近は2019年。生産年齢人口は15歳以上65歳未満の人口の合計。

(出所)総務省「人口推計」

長崎サミットの10年総括と現状認識(続)

■ 新型コロナウイルス感染症の影響

▼ 観光等を中心に経済へのマイナス影響は甚大

△ デジタル化の加速 (IT関連財・サービスの需要拡大、地理的条件のフラット化)

△ 地方回帰、持続性の高い生活・社会の希求

△ 地域課題の解決をビジネスにつなげる動きの拡大

□ 九州新幹線西九州ルート開業、長崎駅周辺再開発、等



次の5年間は長崎の経済活性化のチャンス／正念場

～ 地方間格差は拡大？

次の5年間で目指すこと

(1) 経済活性化につながる具体的な取り組みの加速

～ Time for talk is over. Now arrives the hour of action.

(2) 外部連携の輪を広げ、長崎をオープンイノベーションの拠点に

～ 新たな視点やネットワークが、案件推進や新しい取り組みの着想につながり、さらに外部連携の輪が広がる好循環に。

～ 新幹線開通や駅周辺再開発等もレバレッジに。

(3) “長崎がおもしろい”を広げる

～ “おもしろい”を起こし、伝える、長崎サミットの役割は大きい。

各種プロジェクトの進め方

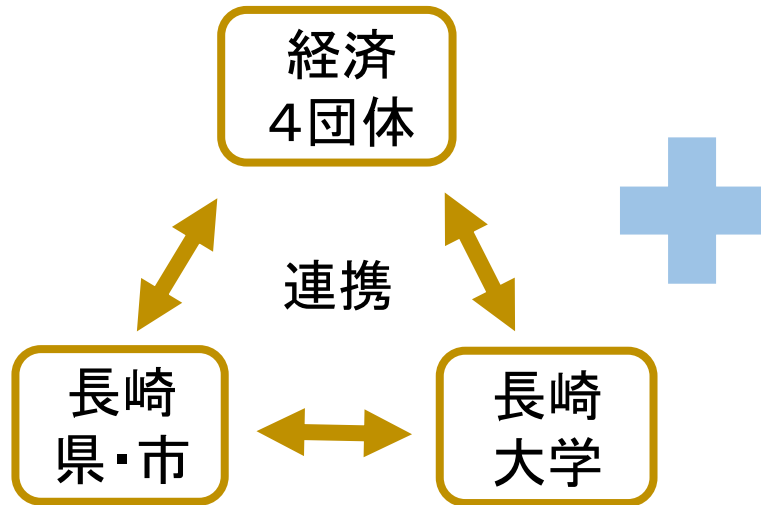
長崎都市経営戦略推進会議（長崎サミット直下組織）

- 重点分野：①行きたくなる、住みたくなるまちづくり、②地域の産業を担う人材育成・確保、③長崎を知っていただくブランディング、④長崎をさらに発展させる産業振興（第19回長崎サミット）
- 自主推進＋
内外連携の支援・コーディネーション、案件推進の支援
- ファンドの使い方（支援対象案件等）は今後慎重に同会議で検討

各種プロジェクトの進め方

長崎サミット各メンバー

～ 連携しつつ、総力戦で…



- 組織・地域を超えた外部連携を強化
 - ✓ 大都市圏の大企業(総合商社等)
 - ✓ 県内進出企業(IT等)
 - ✓ ジャパネットグループ
 - ✓ 大学、etc.

長崎サミット

～ 全ての成果、長崎で起こっていることを、地域を超えて発信

(参考1)各種プロジェクト

既存プロジェクト

| プロジェクト | 推進主体 | 長崎をさらに発展させる 産業振興 | | | | IT | 海洋 | 観光 | 他 |
|-----------------------|-----------------------------------|---------------------|----|----|----|----|----|----|---|
| | | 横断的 活動分野 | IT | 海洋 | 観光 | | | | |
| 新幹線長崎ルートの開業効果最大化 | 県、市、商工会議所ほか | ● | | ● | ● | | | | ● |
| 若者の地元定着推進(長崎しごとみらい博) | 県、労働局、経営者協会、大学、高校 | ● | ● | ● | ● | | | | ● |
| 長崎の留学生支援 | 長崎留学生支援センター、産学官 | ● | ● | ● | ● | | | | ● |
| 長崎かんぼこ王国 | 商工会議所、かんぼこ王国推進委員会 | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | |
| 海のオーケストラ(魚の美味しいまち長崎) | JTB、地元ホテル | ● | | ● | ● | | ● | ● | |
| 夜景プロモーション推進 | 夜景プロモーション推進委員会 | ● | | ● | ● | | | ● | |
| 次世代養殖、スマート養殖推進 | 長崎大学海洋未来イノベーション機構 | ● | ● | ● | ● | | ● | | |
| 洋上風力発電事業用アクセス船、移乗装置開発 | 長崎海洋産業クラスター形成推進協議会、崎永海運、大学 | | | ● | ● | | ● | | |
| 浮体式海洋環境観測装置(MIA)の商品化 | 長崎海洋産業クラスター形成推進(協)、会員企業 | | ● | | ● | | ● | | |
| 海洋開発人材育成 長崎海洋アカデミー | 長崎海洋産業クラスター形成推進(協)、日本財団、県、大学 | | ● | ● | ● | | ● | | |
| 潮流発電技術実用化 実証事業 | 長崎海洋産業クラスター形成推進(協)、九電みらいエナジー、会員企業 | | | ● | ● | | ● | | |

(参考1)各種プロジェクト

県外・県内企業との連携案件

行きたくなる、住みたくなる
まちづくり

地域の産業を担う
人材育成・確保

長崎を知っていただく
ブランディング

長崎をさらに発展させる
産業振興

| プロジェクト | 推進主体 | 横断的 活動分野 | | | | IT | 海洋 | 観光 | 他 |
|-----------------------------|---------------------------|------------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|----|----|----|---|
| | | 行きたくなる、住みたくなる まちづくり | 地域の産業を担う 人材育成・確保 | 長崎を知っていただく ブランディング | 長崎をさらに発展させる 産業振興 | | | | |
| 長崎におけるイノベーション・コミュニティの形成 | 地場・県外のイノベーション・コミュニティ／ハブ等 | ● | ● | ● | | | | | ● |
| 海洋におけるデータ・センシング・デバイスについての議論 | 県内団体、県外イノベーション・コミュニティ／ハブ等 | | | ● | ● | ● | ● | | |
| 5Gの教育面への活用検討 | 県外イノベーション・コミュニティ／ハブ等 | ● | ● | ● | | ● | | | ● |
| 長崎における課題オープン・データベースの構築 | 長崎の基礎自治体、県外コンサル企業等 | | ● | ● | | ● | | | ● |
| ワーケーションを切り口とした長崎のコミュニティ醸成 | 長崎の基礎自治体、県外複業等推進団体、企業等 | ● | ● | ● | ● | | | ● | ● |
| 観光コンテンツ醸成にむけた街づくり議論 | 地場団体、県外建築コンサル等 | ● | | ● | ● | | | ● | |
| おさかなサブスク | 地場水産関連企業、県外デザインファーム、IT企業等 | | ● | ● | ● | | ● | | |
| 長崎におけるおさかな消費市場の整備 | 地場水産関連企業、県外街づくり事業者、通信事業者等 | | ● | | ● | | ● | | |
| 伝統産業の担い手創出プラットフォーム | 地場伝統産業事業者、県外ベンチャー企業等 | | ● | | ● | | | | ● |
| 斜面地MaaS | 地場自動車関連企業、県外自動車メーカー等 | ● | | ● | | ● | | | ● |

(参考1)各種プロジェクト

県内企業主体の案件

行きたくなる、住みたくなる
まちづくり

地域の産業を担う
人材育成・確保

長崎を知っていただく
ブランディング

長崎をさらに発展させる
産業振興

| プロジェクト | 推進主体 | 横断的 活動分野 | | | | IT | 海洋 | 観光 | 他 |
|---------------------|------------------|-------------|---|---|---|----|----|----|---|
| 長崎スタジアムシティプロジェクト | ジャパネットグループ | ● | ● | ● | | | ● | | |
| NAGASAKI SAFETY | 長崎大学、宿泊・観光業界 | ● | ● | ● | | | ● | | |
| 出島プロジェクト | 長崎自動車 | ● | ● | | | | ● | | |
| 長崎横丁プロジェクト | NCC | ● | ● | | | | ● | | |
| 観光のスマート案内 | SAIKOH(KTN+長崎再興) | ● | ● | | | | ● | | |
| IT企業と連携した地域課題解決(予定) | 県外IT企業、県内IT企業 | | ● | ● | ● | | | | |

(参考2)長崎サミットの組織と運営

組織の目的:長崎地域の経済活性化に向けた産学官の連携・役割分担による活動のプラットフォーム
 ≪長崎地域の経済活性化の鍵 横断的活動分野≫

行きたくなる、住みたくなるまちづくり

地域の産業を担う人材育成・確保

長崎を知っていただくブランディング

長崎をさらに発展させる産業振興

長崎都市経営戦略推進会議

【議長】 長崎経済研究所社長
 【副議長】 日銀長崎支店長

【構成メンバー】 日銀長崎支店長
 長崎商工会議所 長崎経済同友会 長崎県経営者協会 長崎青年会議所
 長崎県◎ 長崎市◎ 長崎大学[Ⓐ] 九経連地域委員会◎ 新聞・放送
 PTの代表◎ (※◎はオブザーバー [Ⓐ]はアドバイザー)

【役割】 ・地域課題解決等のプロジェクトの推進・支援
 ・産学官連携基盤の維持
 ・プロジェクトに関する情報発信
 ・長崎サミットの企画・運営 等

事務局 専任(事務局長他)
 経済団体事務局
 十八親和銀行
 長崎経済研究所

≪コアミーティング≫
 情報を共有し、事務局的功能を有する

推進方針示唆・確認等

長崎サミット

長崎商工会議所会頭
 長崎経済同友会代表幹事
 長崎県経営者協会会長
 長崎青年会議所理事長
 長崎県知事
 長崎市長
 長崎大学学長

【開催】 原則 年2回(6月、11月)
 【進行役】 日銀長崎支店長
 【役割】 プロジェクト・課題解決等に
 係る方向性の示唆・確認

活動資金の支援 会員からのプロジェクト提案

【(一社)長崎都市経営戦略支援協会】
 会員 約170社 会費収入40百万円/年 運営費及び長崎都市経営サポート資金
 事務局:委員会事務局(専任)が兼務

※次世代プロジェクト検討委員会の答申内容に沿った組み立て